

H30年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	応用地質株式会社
ソフトウェア名	GEO-CRE/GEO-CRE Pro
適用分野	地質・土質
適用フェーズ	(調査、予備設計、詳細設計、施工等)

国交省			応用地質株式会社
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	H30年度施策	ソフトウェアの対応状況
1	契約図書化に向けたCIMモデルの構築（設計・施工）	新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。	—
2	関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行	新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。	関係者間共有にはフリーソフトのOCTAS（応用地質製3次元ビュー）等を利用 オンライン納品対応は未対応
3	属性情報の付与	付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。 (H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に)	地質・土質のIFCは未策定なため、対応時期は未定
4	CIMモデルによる数量、工事費、工期算出	3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。	—
5	CIMモデルによる効率的な照査の実施	詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。	地質・土質は未対応
6	施工段階でのCIMモデルの効率的な活用	施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。	・施工者との情報共有にフリーソフトのOCTAS、およびOCTASカスタマイズ製品を利用してモニタリングデータを共有 ・施工により明らかになった地盤情報を用いての地質・土質モデルの更新に対応可能
7	その他【現場特性に応じて設定】	実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立てを探る。	・3次元地質解析により、手戻りのなく速やかな3次元地質・土質モデルの構築が可能であり、調査フェーズにおける効率化・生産性向上の取り組みを進めている